

第1回市民会議【アンケート結果】

あなたの事についてお答えください。

年齢 30歳代(6人) 40歳代(2人) 50歳代(3人) 60歳代(9人)

性別 男性(13人) 女性(5人)

Q1. 自治基本条例を知っていましたか？

(15人) 知っていた

(7人) 知らなかった

Q2. 今回の市民会議に参加して、どのように感じられましたか？

(18人) 参加してよかった

(0人) 参加しなければよかった

(4人) どちらともいえない

(0人) その他

その他についての自由記述欄

- ・ 司会者を決めておく
- ・ 市民共同参画型の条例を考えるということは良いことだと思う
- ・ グループワークの時間が1時間くらいは必要
- ・ 幅広い内容で
- ・ 会議参加者がもう少し多いほうがより意見が出たと思う

Q3. 次回の市民会議に参加したいと思いますか？

(16人) 参加したい

(2人) 参加したくない

(3人) どちらともいえない

Q4. 会議の開催に関して、内容・方法、感想など、どんなことでも結構ですので、ご意見がありましたらお書きください。

- ・ 憲法との関係における自治基本条例の検討ではありますが、行政法、地方自治法との関係、自主制定と押し付けとのかね合いの問題はないでしょうか。
- ・ 課題を事前に付与して
- ・ 参加者の意見交換の時間を長くしてほしい。
- ・ 各区長さんのような方に参加してほしい。
- ・ 時間が短すぎる。
- ・ 開催日は予めアンケート等をもって日程調整してほしい
- ・ 意見交換の時間を十分とってほしい
- ・ 次回も参加したい
- ・ もう少しテーマを絞ったほうがいいのかと思います
- ・ 協働と自治会組織のあり方
- ・ 50年近く災害もない平和な海津でアパート等の新住民と自治会のあり方、自治会館のバラツキ
- ・ 会議開催のPRをもっと行い参加者を多く集める努力をして欲しい
- ・ 行政職員は地域の懇談会に積極的に参加し、区・自治会にPRする
- ・ グループ討議では予備知識がない人もいた。今後、検討課題を知らせ出欠を促すのもいいのではないかと思う
- ・ まちづくりに関して市民の方たちの意見を聞く機会をもっと重ねていくことが大切だと思った。平田町民の参加が少ないので何か方法はないか。

第1回市民会議【アンケート結果】

Q5. これからのまちづくりの姿はどうあるべきと思いますか？

- (4 人) 市民や地域でできることはまず市民で行い、それでできないことを行政が担うべき
- (9 人) 地域でできること、行政がやるべきことを役割分担して行うべき
- (10 人) 公共サービスは行政が行うべきだが民間活力をもっと活用するべき
- (1 人) すべての公共サービスは行政が行うべき
- (0 人) わからない
- (0 人) その他

その他についての自由記述欄

- ・ 活動に対する行政の支援（補助金等）を明確にすること
- ・ 現実には市民が地域で活動する難しさを日々感じています。必要性は多大であるためまだまだこれからです。

Q6. 市政の運営に関して、どんなことが必要だと思いますか？

- (6 人) 知る権利の保障
- (4 人) 個人情報の保護
- (10 人) 市民との情報共有
- (7 人) 行政の透明性の確保
- (6 人) 効率的な行政運営
- (5 人) 財政の健全性の確保
- (5 人) 行政評価の実施と公表
- (6 人) 財政状況の公表
- (5 人) 説明する責任
- (3 人) パブリックコメントの実施
- (4 人) 適正な行政手続きの方法
- (7 人) 苦情・相談への迅速で的確な処理
- (5 人) 市民の安全を守ること
- (4 人) 男女平等施策の推進
- (5 人) 計画策定への市民参加
- (4 人) 市民の公益活動に対する支援
- (0 人) その他

その他についての自由記述欄